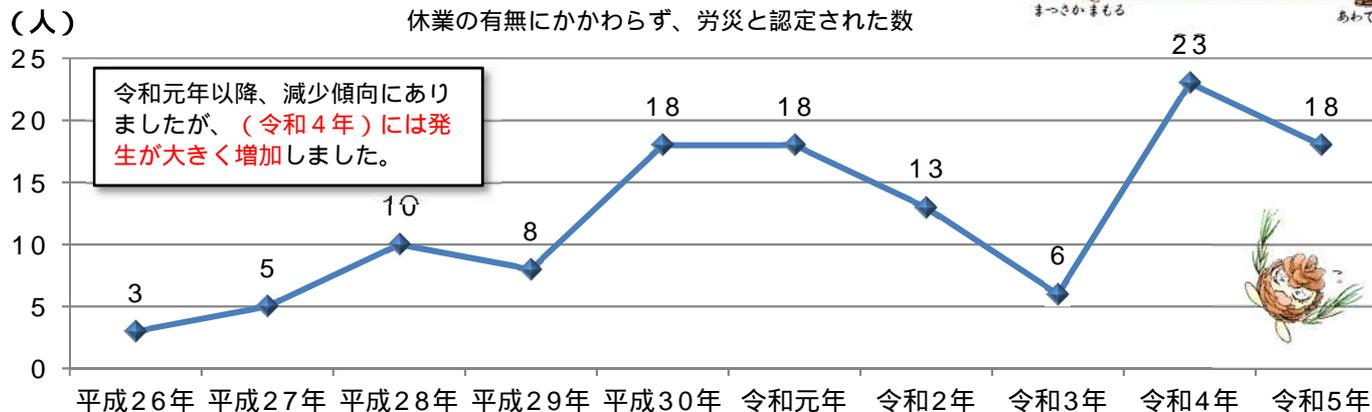


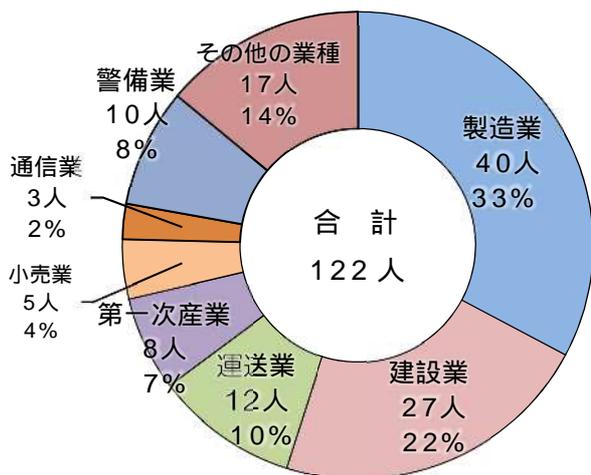
松阪・多気地区における熱中症の発生状況



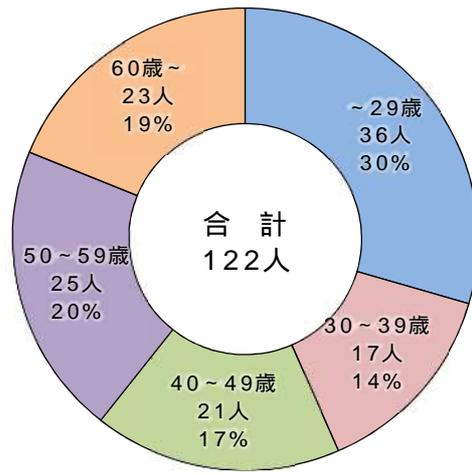
熱中症の発生状況（労災給付数 の推移）
（平成26年～令和5年）



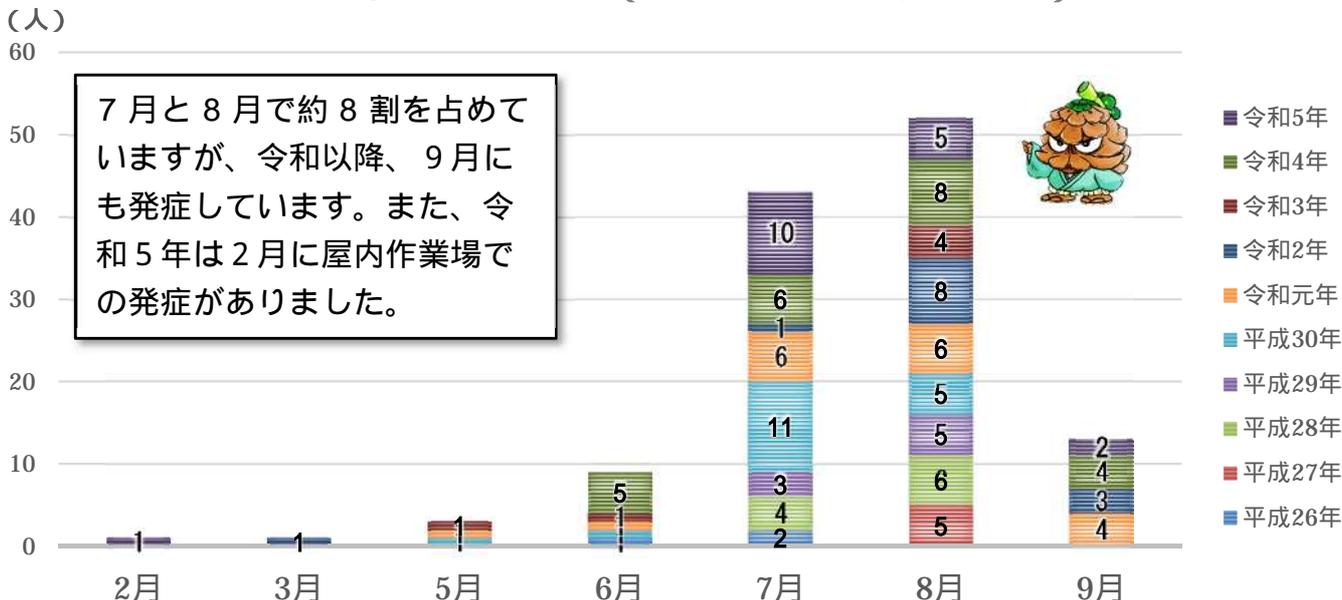
熱中症が発生した事業場の業種別内訳
（平成26年～令和5年）



熱中症による被災者の年齢別内訳
（平成26年～令和5年）



熱中症の発生月（平成26年～令和5年）



WBGT を熱中症予防に活用しましょう

暑さ指数（WBGT）とは？

WBGT は、熱中症を予防することを目的に提案された指標で、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目し、人体の熱収支に影響の大きい、湿度、日射・輻射などの周辺の熱環境、気温の3つを取り入れた指標です。

（参考）日本スポーツ協会では、WBGT 値に応じ運動時の熱中症の危険度を次のとおり分類しています。

危険	31 以上	運動は原則中止
嚴重警戒	28～31	激しい運動は中止
警戒	25～28	積極的に休憩
注意	21～25	積極的に水分補給
ほぼ安全	21 未満	適宜水分補給



一般に、WBGT が 28（嚴重警戒）以上となった場合、熱中症患者が著しく増加するとされています。令和 5 年における松阪・多気地区の熱中症での労災給付件数 18 件について、発症当日の三重県津地点における WBGT を確認（環境省 HP より）したところ、約 9 割が 28 以上の嚴重警戒レベルでした。なお、実際の事例は、屋外だけでなく、屋内で熱中症を発症しているものもあり、一概には言えませんが、災害発生現場においても暑熱な環境であった可能性があります（下表参照）。あらかじめ、WBGT 指数計を用いて WBGT を把握し、熱中症予防に活用しましょう。

安全に！！



対策の
ポイント

WBGT の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること。作業を管理する者及び労働者に対してあらかじめ労働衛生教育を行うこと。糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮をおこなうこと。

< 具体的な熱中症防止対策 >

「STOP!熱中症クールワークキャンペーン」特設サイトでご確認ください。次の URL 又は

QR コードから、確認できます。 https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/stop_neccyusyo_mie.html



< 令和 5 年 松阪・多気地区における熱中症発症事例（労災給付事例） >

月	業種	年代	気温	WBGT	概	要
7	警備業	40代	34.6	29.9	交通誘導警備にて交通誘導中に発症し、救急搬送	
7	運送業	40代	31.3	29.0	運送中、熱中症の症状を発症、休憩し回復したため作業を継続、その後倒れ、救急搬送	
9	小売業	50代	28.4	29.6	朝から体調が優れない状態で出勤し、熱中症を発症、受診	
8	製造業	50代	32.3	31.3	鋳物製造ラインで制御盤の操作中に発症し、救急搬送	
8	その他	60代	31.5	31.5	小休憩中に駐車場で発症し、救急搬送	
8	建設業	20代	31.4	31.5	建築の建て方作業中に発症し、受診	
2	製造業	30代	14.5	-	工場内高熱作業現場で作業中発症し、救急搬送	

気温及び WBGT 値は、気象庁と環境省 HP より引用した三重県津地点における参考値です。



(R6.5)